

株式会社調和技研

北海道札幌市

はばたく中小企業・小規模事業者300社

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

AIによるワクワクした未来社会の創造 優秀な人材を育てる自由な研究環境

北海道大学大学院情報科学研究科調和系研究室の学生や教授が大学で学んだ最先端技術の社会実装を目的に立ち上げた大学認定のベンチャー企業。同研究室出身の社員を中心に博士号取得者が10名在籍している研究者集団である。最初に手掛けたのがHPのアクセス履歴や閲覧者の属性から人の関心を分析する興味解析エンジンの研究であった。現在は自然言語系、画像系、数値系と広範囲にわたる人工知能の研究と開発を事業化している。

- 所在地 北海道札幌市北区北二十一条西12丁目2-305
- 設立 2009年
- 電話/FAX 011-717-7017 / FAX番号なし
- 資本金 2,200万円
- URL <https://www.chowagiken.co.jp/>
- 従業員数 30人
- 代表者 代表取締役社長 中村 拓哉

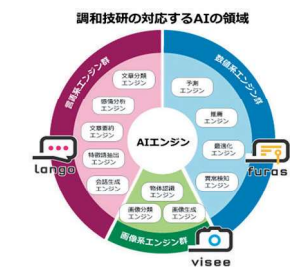


生産性向上

サービス

AIを活用して人手不足を解決

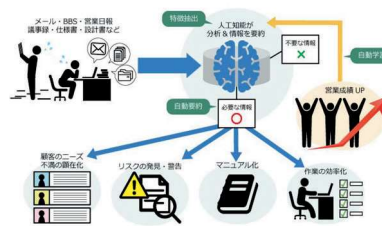
自社開発した「自然言語系」「画像解析系」「数値系」の3分野のAIエンジンをサービス化している。それぞれのエンジンは例えば文章分類、物体認識、未来予測等を可能とするが、それらによって人手に頼っている作業を自動処理し効率化を図る事ができる。少子高齢化が叫ばれる一方、未だ人手によって処理されている作業は数多くあり、商圏の拡大が期待される。また、AIは現在最も注目される分野の一つでもあり、今後、我が国のイノベーションを牽引しモノづくり大国日本が復権する可能性を大いに秘めている。



AIエンジン組み合わせによる課題解決

AI搭載の「言語認識エンジン」により文章の要約業務が大幅に改善

従来は人が行っていた文章のポイントを理解し要約文を作成したり、その記載された内容に基づいて適切なカテゴリに分類する作業を同社の「言語認識エンジン」により可能とし、飛躍的に業務効率化を図っている。こうした技術を活用し、例えば過去から大量に蓄積されたメールをその会社の業務にあった分野にカテゴリ分けし要約する事で、過去に蓄積されたデータから新たな社内ナレッジへと顕在化する事も可能となる。



言語認識エンジンを活用したサービス事例

若い社員に対して意識的に実戦に近い業務を割り当て

若者の就職先が少ない地方において、優秀な研究者育成の為、リアルなデータを用いた実践的教育や個々の裁量を重んじる自由な環境を大切にしている。また、大学研究者によるメンター制度、大学との連携に力を入れている。こうした教育方針により、年齢、性別、国籍に関わらず多くの方の関心を得て、入社希望が寄せられている。海外からの社員も積極的に受け入れ、現在は7カ国のメンバーが活躍している。



調和技研のメンバー